

ちよみて奉りける。

濱千鳥とび行かぎり有ければ雲立山をわはどこそみれ、とよみたりければいとかしこくめで給ひて、かづけものたまふ。○又見大鏡

〔日本紀略三〕天曆元年正月廿六日壬子、此日太上天皇○朱幸大原野。三月廿日乙巳、太上天皇幸西河修御禊、便幸栽松院、嵯峨野。

〔九曆〕天曆元年四月廿三日、上皇御醍醐事○於粟田山口乘御馬

〔百練抄花四〕寛和元年二月十三日、太上皇○圓幸雲林院邊、子日野遊、左右大臣藤原兼家、已下陪從、

京洛野邊、見物車如雲、

〔百練抄花四〕寛和二年十月十四日、圓融院、幸大井河、攝政○藤原兼家已下扈從、有和歌管絃、大藏卿時中任參議、由於彼席被仰下之、

〔古事談王道后宮〕圓融院、大井河逍遙之時、御御舟、到給都那瀬、管絃詩歌各異、其舟、公任乘三舟之度也、先乘和歌船云々。○又見古今著聞集、東齋隨筆、

〔續古事談王道后宮〕圓融院、大井川ニ御幸アリケルニ、先少井寺ノ前ニ假屋ヲタテ、オハシマス、大入道殿○藤原兼家攝政ノ時御膳マウケラレケリ、茶碗ニテゾアリケル、其後御船ニタテマツリテ、

トナセニオハシマシケリ、詩歌管絃オノノ、船コトナリ、源中納言保光卿、題タテマツル、翫水邊

紅葉トゾ、詩ノ序右中辨資忠、和歌ノ序大膳大夫時文ツカウマツレリ、法皇御衣ヲヌギテ、攝政ニ

タマフ、攝政又衣ヲヌギテ、大藏卿時仲ニ給ケリ、管絃ノ人々、上達部キヌヲカヅケラレケリ、内裏

ヨリ、頭中將誠信朝臣御使ニマキレリ、祿ヲタマヒテカヘリマキル、攝政管絃ノ船ニ候、時仲ノ三

位ヲメシテ、院ノ仰ヲ傳テ參木ニナサレケリ、人々ヒソカニ云ヒケル、主上ノ御前ニアラズ、タチ

マチニ參木ヲナサル、事、イカバアルベキトカタブキケリ、今日ノ事、何事モ興アリテイミジカ